

令和 2 年度

札幌市清田老人福祉センター

事業計画

札幌市清田老人福祉センター指定管理者
社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会

令和2年度札幌市清田老人福祉センター事業計画

I 基本方針

- 1 職員の専門性を活かした包括的な支援・サービスの提供を行うとともに誰もが平等にサービスを受けることが出来るよう支援する。
- 2 老人福祉センターを拠点としたボランティア活動の充実と高齢者の社会参加する機会を提供する。
- 3 利用対象者のみならず、地域の方々とも交流が出来るような場を提供する。
- 4 各区社会福祉協議会等関連機関との更なる連携強化を図る。
- 5 老人福祉センター周辺の地域性による臨機応変な取組を支援する。
- 6 講座・サークル活動の取組みを支援する。
- 7 更なる経費縮減を図る。

II 計画目標値

- 1 全体利用者数
70,000人/年（前年度目標値：76,500人）
- 2 老人福祉センター利用者アンケート
 - ・ 回答数 280人以上
 - ・ 総合満足度 70%以上
 - ・ 接遇に関する満足度 75%以上

III 業務実施計画

- 1 高齢者に対する生活相談等に関する業務（専門家相談事業含む）

(1) 目的・ねらい

随時、利用者や家族等からの、生活、福祉、住宅等の様々な相談を受け、適宜、的確な状況把握や援助を行うとともに、専門的対応や緊急対応が必要な場合においても、本会の専門性を活かした連携により、悩みごとや不安の解消に向けて、積極的に支援する。

(2) 実施内容

項目	内容	実施時期	相談対応者
生活相談	日常生活の悩み事、困り事の相談	通年実施	館長/看護師
健康相談 (専門家相談事業)	医師、看護師等による健康相談	4月・6月・11月	医師・看護師・鍼灸師・あんまマッサージ師
終活相談 (専門家相談事業)	遺品等の生前整理についての相談	2月	遺品整理士
転倒予防相談 (専門家相談事業)	冬道を安全に歩行するための講話及び相談	12月	鍼灸師・あんまマッサージ師・柔道整復師

(3) 専門家相談事業の目標数値

- ・ 実施回数 4回以上/年
- ・ 参加人数 15人以上/回
- ・ 満足度 80%以上

2 健康相談・機能訓練に関する業務（講演・運動等事業）

(1) 目的・ねらい

高齢者自身の健康管理や介護予防への関心はますます高まる傾向にあることから、そのニーズを的確に捉え専門性を活かした取組を実践する。

(2) 実施内容

項目	内容	実施時期	実施回数 (年)
はつらつ健康体操	理学療法士の指導による介護 予防体操	月2回 講師指定日	24回
パワーアップ体操	体質改善や痛み解消及び体ス ッキリ感を目的とした、軽度な 運動や脳トレなど	月1回 講師指定日	12回
健康づくり体操	背骨コンディショニング、エア ロビクス、ストレッチ、筋トレ、 姿勢改善など	月1回 講師指定日	12回
地域医療講話	南徳洲会病院の医師または看 護師による医療講話 ※地域住民の参加を可とする	月1回 (11月を除く) 講師指定日	11回
転倒予防・脳トレ体操	転倒予防体操および脳を活 性化するための体操の実施。	12月～2月	3回
ノルディックウォー キング講習会	2本のポールを使った全身運 動。体づくりだけでなく肩や 首のコリの解消も期待できる。 (専門指導員による講習会)	年1回 講師指定日	1回
ラジオ体操講習会 (専門家相談事業)	ラジオ体操連盟公認指導士に よる講話及び実技指導	4月	1回

(3) 目標数値

- ・ 実施回数 50回以上/年
- ・ 参加者数 20人以上/回
- ・ 満足度 80%以上

3 浴室業務

(1) 実施内容

平日の午後 1 時から午後 4 時まで、浴室利用を実施する。

※ 令和 2 年 10 月より営業日の変更予定（週 5 日⇒週 3 日）

(2) 利用促進計画

センターだより等に浴室利用の PR を行う。

(3) 目標数値

利用者数 6,720 人／年（前年度目標値：8,400 人）

4 教養講座の開講に関する業務

(1) 目的・ねらい

健康増進や教養の向上等に関する多彩な講座を開講し、利用者の生涯学習意欲の増進を図り、常に利用者ニーズを把握しながら、スクラップアンドビルドを原則に、ニーズを反映した講座を開催する。

(2) 実施内容

分類		講座名	実施回数 (月)	定員
健康増進	自由参加	フラダンス	3回	—
		代謝アップ体操	3回	—
		いきいき元氣ヨガ	3回	—
		脳・足きたエール	2回	—
		フォークダンス	3回	—
		健美操	2回	—
教養向上	定員制	日本の歴史	2回	20名
		ペン習字	3回	20名
		英会話	2回	10名
		水彩画	2回	10名
		和み(なごみ)のふで文字	2回	10名
	自由参加	カラオケ	3回	—
		民謡	3回	—
		詩吟	3回	—
		舞踊	3回	—
		楽しいコーラス	2回	—

(3) 目標数値

- 申込率 定員制講座において、定員に対して80%以上
- 満足度 80%以上

5 レクリエーション・各種行事の開催等に関する業務

(1) 目的・ねらい

利用者の健康増進、生きがいづくり及び豊かな生活の実現を支援するため各種活動の場を提供して、相互交流の輪を拡げていき、季節感のある四季折々の行事に加え、地域に根ざし開かれたセンターとして、協働行事や地域開放行事、世代間交流行事を展開しながら、地域住民同士の交流や地域住民とセンターとの連携強化を促進する。

(2) 実施内容

実施時期	行事名	内容	定員
5月	春季演芸発表会 (カラオケ、民謡、舞踊等)	日頃の練習の成果を発揮する	—
6月	生物多様性保全の取り組み	札幌市が策定した生物多様性の保全のための基本指針に基づく講習会の実施	—
7月	バルーンアート講習会①	風船を用いて昆虫など色々な造形物を製作する。講師はセンター利用者に依頼。	20名
	納涼チャリティー カラオケ大会	カラオケ大会に参加した方の有志からの募金を共同募金会に寄付する。	—
8月	交通安全教室 (高齢者の交通事故防止)	札幌市による「出前講座」を活用し、交通事故防止に向けた意識を高める。	20名
	ロビーコンサート	清田中学校吹奏楽部による楽器演奏等	—
	映画鑑賞会①	高齢者が楽しめる内容の映画(DVD)を上映する	—
	避難訓練	通報・避難誘導等訓練	
9月	社会見学会	場所等は未定	30名
	秋季演芸発表会 (カラオケ、民謡、舞踊等)	高齢者保健福祉週間行事として開催する。	—
	①ダンスパーティー ②よさこいソーラン演舞	・フラダンス ・フォークダンス ・よさこい演舞	—

10月	文化祭 (作品展示会)	秋の恒例行事 絵画や書道、木彫、革細工などセンター利用者の作品を展示する。	—
	収穫祭 (かぼちゃ、芋、枝豆)	施設菜園としてセンターで作った野菜を収穫し、かつ調理し、センター利用者へ無償配布する。	—
11月	バルーンアート講習会②	前述のとおり	20名
12月	Xmas コンサート	クリスマスソングや懐かしい曲の演奏や歌唱コンサートを開催する。	—
	Xmas ソング合唱会	Xmas の雰囲気を楽しみながら Xmas ソングを合唱する。	—
	Xmas ダンスパーティー	Xmas にちなみフォークダンス・フラダンスパーティーを開催する。	—
1月	新春チャリティー カラオケ大会	カラオケ大会に参加した方の有志からの募金を共同募金会に寄付する。	—
	ロビーコンサート	清田中学校吹奏楽部による楽器演奏等	—
	学生寄席	北海道大学落語研究会の学生による落語を披露	—
	映画鑑賞会②	前述のとおり	—
2月	節分豆まき	喫茶コーナー（ふれあいホール）を利用して、豆まきを行う。豆をまくのは年男・年女のセンター利用者。	—
	ミニゆきあかり	センター周辺にアイスキャンドル等の設置	—
	修了作品展示会	「ペン習字」「水彩画」の教養講座で1年間学んだ利用者の卒業記念作品をセンター内に展示する。	—
3月	避難訓練	通報・消火避難誘導等訓練	—

(3) 目標数値

- ・ 申込率 定員を定めているものについて、定員の80%以上
- ・ 満足度 80%以上

6 高齢者の活動支援及び地域開放に関する業務

(1) 目的・ねらい

「施設開放取扱要領」に基づき、センターの空き室を「高齢者の活動支援」を目的に、老人クラブや講座修了の受講生、町内会等が主催する「ふれあい・いきいきサロン」等に積極的に開放し、健康づくり活動や趣味のサークル活動、地域活動等を支援する。

(2) 実施内容

空き室の有効利用として、連合町内会、単位町内会等の地域団体への開放を積極的に行い、各団体による地域の福祉活動、住民活動の促進を支援する。

7 その他施設の設置目的を達成するために必要な業務

(1) ボランティアの育成及び活動支援

ア 目的・ねらい

清田区社会福祉協議会および清田区地域包括支援センターとの連携のもと、引き続き、ボランティア養成講座を実施し、地区のニーズに合った人材を発掘・育成し、ボランティア活動の振興・普及を支援する。

イ 実施内容

名 称	内 容	実施時期 (予定)
生活応援ボランティア養成講座の開催	地域のちょっとした困りごとに対してお手伝いしてくれるボランティアを養成する。 (買い物支援、ゴミ出し等)	未定
認知症サポーター養成講座の開催	認知症を正しく理解し、自分のできる範囲のボランティア活動として認知症の人やその家族を支援する人材を養成する	未定

(2) 実習生の受入れ

ア 目的・ねらい

福祉系学生や看護学生等の実習を積極的に受入れ、福祉人材の育成に寄与する。

イ 実施内容

	内 容	受入時期
札幌市立大学	老年看護学臨地実習	5月

(3) 福祉職場体験活動の推進

ア 目的・ねらい

福祉・介護の仕事に関心を有する学生に対して、働く意義や責任感を実感し、思いやりや社会に貢献する心を育ててもらうため、センターにおいて、福祉の職場を通しての社会体験や就業体験の機会を提供する。

イ 実施内容

	内 容	受入時期
清田南小学校	清田南小学校福祉職場体験	7月
清田中学校	清田中学校福祉職場体験	11月

(4) 地域との連携

ア 目的・ねらい

地域協働の行事を開催し、地域に根ざしかつ開かれたセンターづくりを推進する。

イ 実施内容

項 目	内 容	実施時期
盆踊り大会	清田中央児童会館と合同で開催。	8月
ちぎり絵工作会	清田中央児童会館と合同で開催。	8月
ミニ運動会	清田中央児童会館の子供たちを招待しミニ運動会を開催	10月
かるた&百人一首大会	清田中央児童会館の子供たちを招待し新春かるた&百人一首大会を開催する。	1月
清田中央地区福祉のまち推進センターとの共催事業	認知症予防に関連した研修会を合同で開催する。 ※地域住民の参加を可とする	未定

ウ 目標数値

地域との連携行事を年2回以上開催

(5) 一人暮らしの高齢者等の見守り活動の推進

ア 目的・ねらい

関係機関との連携をさらに強化し、一人暮らし高齢者の引きこもり防止や生きがい支援に向けて、センターの教養講座やサークル活動、レクリエーション等各種行事への参加・利用を呼びかけ、他の利用者との交流や趣味活動の機会を持つことで、地域との関わりを保ちながら暮らしていけるよう支援する。

イ 実施内容

名 称	内 容	実施時期
関係機関との連携促進	一人暮らし高齢者へのセンター利用の呼びかけ依頼	通年実施

(6) 障がい者関係団体との連携

ア 目的・ねらい

障がい者の生活課題を啓発し、理解・支援を広める。

イ 実施内容

当センター利用者の利便性を高めることも目的として、障がい者団体によるパン等の販売を引続き実施する。

(7) 文集等の発行

ア 目的・ねらい

老人福祉センター利用者等による文芸創作活動の発表と文芸を通しての交流の場として、市内10館の老人福祉センター、長生園及び保養センター駒岡の合同による文集「輝き」を発行する。

イ 実施内容

随筆、詩、俳句、短歌、川柳、その他文芸作品（思い出の写真、短編小説、コント等）を利用者から投稿していただく。

ウ 目標数値

年1回の発行

IV 広報活動

当該業務については、札幌市と連携しながら、リーフレット、情報誌の作成・配布、ホームページの更新、その他の必要な施設のPRや情報提供を行う。

1 センターだより、リーフレット（老人福祉センターごあんない、さっぽろの社協）等による周知

※ 毎月、センターだよりを以下の関係団体に配布する。

- ・地元町内会
- ・地元地区センター
- ・清田区社会福祉協議会
- ・清田区第1および第2地域包括支援センター
- ・札幌市社会福祉協議会白石・厚別・清田事業所
- ・清田中央まちづくりセンター
- ・清田区総務企画課広聴係

2 ホームページによる周知

- ・老人福祉センターの利用案内、施設紹介

- 各種行事、イベントの案内
- センターだよりやお知らせの掲載（適宜更新）

3 その他媒体による周知

- 地域新聞、地域情報誌掲載によるイベントの案内
- JCOM によるイベント紹介

V 重点事業の実施計画

平成30年度～令和4年度の運営にあたり、「社会参加の促進」「生きがいづくりの推進」「世代間協調への理解」を最重点テーマとして以下、取り組みます。

1 高齢者の活躍の場の提供

(1) 目的・ねらい

健康増進、生きがい支援を目的としたボランティア活動の場（施設内）を様々提供する。（昨年度継続）

(2) 実施内容

実施項目	内 容	実施時期
①施設周辺美化活動	センター周辺の清掃（ゴミ拾い）	5月・10月
②花壇づくり	きよた花のまちづくり事業へ参加（しゃべりばサロン）	8月
③花壇の整備	春）センターの花壇を整備 秋）落ち葉拾い&冬囲い	5月 10月
④施設菜園	センター内敷地を利用した野菜づくり	5月～10月
⑤行事等の講師を依頼	センター利用者に行事等の講師を依頼。	7月・11月

2 喫茶コーナー活用事業

(1) 事業目的

老人福祉センター利用者の交流を促進し、仲間づくりの機会を提供するとともに、高齢者の社会参加促進の事業を実施することを目的とする。

(2) 実施内容及び実施手法

ア ボランティアによるカウンター対応

イ 仲間づくり

老人福祉センターを利用したことがない一人暮らしの高齢者に対して、喫茶コーナー利用を一つのきっかけとして仲間づくりができるよう福祉のまち推進センターと連携しながら、一人暮らしの高齢者へ声がけ

を行う。

ウ 清田中学校吹奏楽部と協力し、「ミニコンサート（楽器演奏）」などを開催し、地域の方々にも案内することで地域との交流を図る。

Ⅵ その他

1 健康意識づくりの啓発

(1) 目的・ねらい

老人福祉センターの測定機器を活用し、気軽に健康測定をしてもらうことで、健康意識の向上により介護予防の促進を図る。

(2) 実施内容

血圧計、体重計、体脂肪計、握力計などの健康測定機器を設置し、定期的に測定することで健康状態を把握し、測定結果に合わせて看護師から健康に関するアドバイスを行うとともに、健康相談につなげる。

令和2年度札幌市清田老人福祉センター自主事業計画書

札幌市清田老人福祉センターの管理運営を実施するほか、利用者への利便の提供、利用者の社会参加を図ることを目的して、次の事業を行う。

1 自動販売機による販売

(1) 目的

老人福祉センター利用者へ利便性を提供することを目的とする。

(2) 事業内容

札幌市清田老人福祉センター内に自動販売機1台を設置し、各種飲料を販売する。

(3) 販売品目

缶ジュース、缶コーヒーなどのソフトドリンク。

2 喫茶コーナーによるコーヒー販売

(1) 目的

老人福祉センター利用者の交流を促進し、仲間づくりの機会を提供するとともに、高齢者の社会参加促進に寄与することを目的とする。

(2) 事業内容

ア 高齢者のボランティアによりコーヒーの販売を行う。

イ 平日の午前10時から午後3時以内とする。ただし、行事等を開催する場合は平日に限らず実施し、時間を延長する場合もある。

ウ コーヒー一杯の販売価格は100円(消費税込)とする。なお、原材料等の変動により変更する場合がある。

令和2年度札幌市清田老人福祉センター自主事業収支計画書

<事業名:自動販売機による販売>

単位:千円

項目		事業費	備考
収入	自動販売機手数料	204	月17,000円×12月
	合計	204	
支出計			
	行政財産の目的外 使用料	49	
	合計	49	
収支		155	

令和2年度札幌市清田老人福祉センター自主事業収支計画書

<事業名:高齢者による喫茶コーナー運営>

単位:千円

項目		事業費	備考
収入	売上(販売収入)	1,200	100円×12,000杯
	合計	1,200	
支出計	消耗・備品費	60	消耗品
	諸謝金	600	ボランティア実費弁償
	器具什器費	120	什器
	雑費	420	豆等
	合計	1,200	
収支		0	

様式1 令和2年度札幌市清田老人福祉センター収支計画書(総括表)

単位:千円

1 収入

項目	予算額	摘要
指定管理費	43,541	
利用料金収入	1,344	
その他の収入(指定管理業務)	204	
その他の収入(自主事業)	1,404	
収入計(A)	46,493	

2 支出

大項目	中項目	小項目	予算額	摘要
指定管理業務	管理費	人件費	1,828	
		物件費	2,632	
		小計	4,460	
	事業費	人件費	21,729	
		物件費	18,225	
		小計	39,954	
指定管理業務計			44,414	
自主事業	管理費	人件費		
		物件費		
		小計	0	
	事業費	人件費		
		物件費	1,249	
		小計	1,249	
自主事業計			1,249	
受託事業	管理費	人件費		
		物件費		
		小計	0	
	事業費	人件費		
		物件費		
		小計	0	
受託事業計			0	
支出計(B)			45,663	

3 収支

項目	金額	摘要
当期利益(A-B)	830	
自主事業による利益還元(C)	0	
法人税等(法人税、住民税及び事業税)(D)	830	
当期純利益(A-B-C-D)	0	

注)

- 1 施設において自主事業として実施した、札幌市その他の機関や団体からの受託事業がある場合には、当該受託事業をその他の自主事業と区分して記載してください。(様式2以下についても同様です。)
- 2 収入の表は、様式2に基づき作成してください。なお、行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 3 支出の表は、様式3に基づき作成してください。
- 4 収支の表の法人税等欄については、予想される税金の額を記載してください。

様式2 令和2年度札幌市清田老人福祉センター収支計画書(総括表)

1.利用料金収入

単位:千円

区分	単位	利用料金 (単価:円)	利用回数	予算額	備考
浴室	回	200	6,720	1,344	
総計				1,344	

- 注) 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 2 税込で記載してください。

2.指定管理業務の事業収入、自主事業収入、受託事業収入

清田

単位:千円

項目	事業名(科目)	予算額	摘要
指定管理 業務	その他の収入	204	コピー料収入他
		指定管理業務事業収入計	204
自主事業	手数料収入	204	自販機手数料
	喫茶事業収入	1,200	喫茶収入
	自主事業収入計	1,404	
受託事業			
	受託事業収入計	0	
事業収入計		1,608	

- 注) 1 項目毎に、事業単位で記載してください。
 2 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 3 税込で記載してください。
 4 自主事業において札幌市その他の機関や団体からの補助金の交付を受ける予定がある場合には、摘要欄に補助金の交付元名、補助事業名、補助率等を簡潔に記載してください。
 5 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載し、摘要欄には委託元名を記載してください。

様式3 令和2年度札幌市清田老人福祉センター収支計画書(総括表)

単位:千円

項目	科目	指定管理業務		自主事業		受託事業	
		管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費
人件費	給料手当	1,828	16,113				
	臨時雇賃金		2,837				
	福利厚生費		117				
	法定福利費		2,662				
	人件費計	1,828	21,729	0	0	0	0
物件費	旅費・交通費		50				
	研修費		15				
	消耗品・備品費		117		60		
	印刷製本費		172				
	光熱水費		4,200				
	燃料費		3,050				
	修繕費		500				
	通信運搬費		245				
	広告宣伝費		0				
	委託費		6,770				
	支払手数料		5				
	保険料		67				
	賃借料・使用料		237				
	租税公課		170				
	諸謝金		2,030		600		
	給食費		0				
	保健衛生費		100				
	被服費		25				
	教養娯楽費		120				
	器具什器費		193		120		
	教育指導費		100				
	車両費		0				
	雑費		59		420		
本部経費	2,632	0					
行政財産の目的 外使用料		0		49			
物件費計	2,632	18,225	0	1,249	0	0	
支出計	4,460	39,954	0	1,249	0	0	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 管理費、事業費を区分する際の考え方は次のとおりとします。
 - ・管理費:施設における事業を管理するために経常的に要する費用。管理部門の費用など。
 - ・事業費:施設における事業の目的のために直接要する費用で管理費以外のもの。
- 4 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載してください。
- 5 自主事業、受託事業において事業数が複数の場合、各事業の合計額を記載してください。

様式4 令和2年度札幌市清田老人福祉センター収支計画書(総括表)

清田

単位:千円

1 指定管理業務

配置部署	職種	雇用形態	配置人数	給料手当		臨時雇賃金		福利厚生費		法定福利費		備考
				管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費	
老人福祉センター	館長	正職員	1									
〃	事務職員	〃	2									
〃	2種嘱託	嘱託職員	1									
計			4									

- 注)
- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 - 2 職種欄には、館長、部長、課長等の役職名を記入してください。
 - 3 雇用形態には、パート、アルバイト、嘱託、正社員を記入してください。
 - ・正規職員:当該団体が雇用している労働者で雇用期間の定めのない者のうち、パートタイム労働者などを除いた、いわゆる正社(職)員
 - ・パート、アルバイト:正社員より1日の所定労働時間が短いか、1週の所定労働日数が少ない労働者で、雇用期間が1か月を超えるか、又は定めがない職員
 - ・契約職員:特定職種に従事し、雇用期間を定めて契約する職員(「パート、アルバイト」に属する職員を除く)
 - ・嘱託職員:団体の定年退職者等を一定期間再雇用する目的で契約し、雇用する職員
 - ・その他:上記に属さない職員(他企業等より出向契約等に基づき出向してきている職員など)。なお、上記に属するかどうかの判断が困難な場合は、「その他」としてください。
 - 4 各管理費・事業費欄において両方の経費に該当する場合には、両方の欄に該当額をそれぞれ記載してください。
 - 5 配置部署において指定管理業務での事業を担当している場合、備考欄に当該事業名を記載してください。

2 自主事業

配置部署	職種	雇用形態	配置人数	給料手当		臨時雇賃金		福利厚生費		法定福利費		備考(事業名等)
				管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費	
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	

- 注)
- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 - 2 職種欄には、館長、部長、課長等の役職名を記入してください。
 - 3 雇用形態については、以下により区分してください。
 - ・正規職員:当該団体が雇用している労働者で雇用期間の定めのない者のうち、パートタイム労働者などを除いた、いわゆる正社(職)員
 - ・パート、アルバイト:正社員より1日の所定労働時間が短いか、1週の所定労働日数が少ない労働者で、雇用期間が1か月を超えるか、又は定めがない職員
 - ・契約職員:特定職種に従事し、雇用期間を定めて契約する職員(「パート、アルバイト」に属する職員を除く)
 - ・嘱託職員:団体の定年退職者等を一定期間再雇用する目的で契約し、雇用する職員
 - ・その他:上記に属さない職員(他企業等より出向契約等に基づき出向してきている職員など)。なお、上記に属するかどうかの判断が困難な場合は、「その他」としてください。
 - 4 各管理費・事業費欄において両方の経費に該当する場合には、両方の欄に該当額をそれぞれ記載してください。
 - 5 配置部署における担当事業名を備考欄に記載してください。
 - 6 同一部署において指定管理者業務又は受託事業と人件費を案分している場合には、案分の考え方(比率等)を備考欄に記載してください。
(例:指定管理業務:自主事業=2:1として配分)

3 受託事業

配置部署	職種	雇用形態	配置人数	給料手当		臨時雇賃金		福利厚生費		法定福利費		備考(事業名等)
				管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費	
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	

- 注)
- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 - 2 職種欄には、館長、部長、課長等の役職名を記入してください。
 - 3 雇用形態については、以下により区分してください。
 - ・正規職員:当該団体が雇用している労働者で雇用期間の定めのない者のうち、パートタイム労働者などを除いた、いわゆる正社(職)員
 - ・パート、アルバイト:正社員より1日の所定労働時間が短いか、1週の所定労働日数が少ない労働者で、雇用期間が1か月を超えるか、又は定めがない職員
 - ・契約職員:特定職種に従事し、雇用期間を定めて契約する職員(「パート、アルバイト」に属する職員を除く)
 - ・嘱託職員:団体の定年退職者等を一定期間再雇用する目的で契約し、雇用する職員
 - ・その他:上記に属さない職員(他企業等より出向契約等に基づき出向してきている職員など)。なお、上記に属するかどうかの判断が困難な場合は、「その他」としてください。
 - 4 各管理費・事業費欄において両方の経費に該当する場合には、両方の欄に該当額をそれぞれ記載してください。
 - 5 配置部署における担当事業名を備考欄に記載してください。
 - 6 同一部署において指定管理者業務又は自主事業と人件費を案分している場合には、案分の考え方(比率等)を備考欄に記載してください。
(例:指定管理業務:自主事業=2:1として配分)

様式5 令和2年度札幌市清田老人福祉センター収支計画書(総括表)

清田

単位:千円

1 指定管理業務

科目	予算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費		50	連絡交通費、タクシー代
研修費		15	職員研修参加費
消耗品・備品費		117	事務用消耗品・備品
印刷製本費		172	諸用紙印刷
光熱水費		4,200	電気、水道料
燃料費		3,050	ガス料(暖房・入浴用)
修繕費		500	各所修繕費
通信運搬費		245	電話、郵便料
広告宣伝費		0	
委託費		6,770	各業務委託料、保守料
支払手数料		5	
保険料		67	施設賠償保険等
賃借料・使用料		237	コピー機、券売機等賃借料
租税公課		170	租税公課、印紙等
諸謝金		2,030	講師謝礼金等
給食費		0	
保健衛生費		100	衛生材料等
被服費		25	
教養娯楽費		120	新聞、行事費用等
器具什器費		193	事業用器具類等
教育指導費		100	施設サービスアップ費用等
車両費		0	
雑費		59	給茶器用茶等
拠点区分間繰入金 支出	2,632	0	本部経費
行政財産の目的外 使用料		0	
計	2,632	18,225	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

2 自主事業

科目	予算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費			
研修費			
消耗品・備品費		60	喫茶用消耗品
印刷製本費			
光熱水費			
燃料費			
修繕費			
通信運搬費			
広告宣伝費			
委託費			
支払手数料			
保険料			
賃借料・使用料			
租税公課			
諸謝金		600	喫茶ボランティア実費弁償
給食費			
保健衛生費			
被服費			
教養娯楽費			
器具什器費		120	喫茶用什器
教育指導費			
車両費			
雑費		420	喫茶用コーヒー等
拠点区分間繰入金 支出			
行政財産の目的外 使用料		49	自販機使用料・加算料
計	0	1,249	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

3 受託事業

科目	予算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費			
研修費			
消耗品費			
備品費			
印刷製本費			
光熱水費			
燃料費			
修繕費			
通信運搬費			
広告宣伝費			
委託費			
支払手数料			
保険料			
賃借料・使用料			
租税公課			
諸謝金			
給食費			
保健衛生費			
被服費			
教養娯楽費			
器具什器費			
教育指導費			
車両費			
雑費			
経理区分間繰入金 支出			
行政財産の目的外 使用料			
計	0	0	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。